



「理事長就任のご挨拶」

鈴木徳子 (理事長)

1991年(平成3年)に自立生活センター・立川が設立され、31年目に入る今年、理事長という重責を担う事となりましたが、同時期に就任した廣瀬事務局長をはじめ、理事、監事の皆様、職員に支えられ、今すべきことに集中できる場を頂いております。

昨年ご報告した経済的虐待事件で被害に遭われた皆様には、改めて謝罪申し上げると共に、引き続き真摯に対応を継続して参りたいと思っております。

自立生活センター・立川では、現在21名の職員が在籍し、相談支援、生活介護事業等、5つの部門で事業展開しています。多種多様な業務を個々が抱える事で各事業が成り立っており、今回の反省を踏まえ、各事業の見える化を図り、組織内でお互いに指摘、バックアップ、サポートしやすい環境づくりに努めて参ります。

そして何よりも二度と虐待を起こさない事。これは障害のある仲間として、支援者として、その視点、感覚を持ち続ける事が大切です。今年度より、各部門職員と外部委員で構成した「虐待防止委員会」がそのチェック機能と教育機能を強く持つこととなり、より現場の声を拾いつつ指摘助言していく場を作りました。

自立生活センターが大切にすべき事は「障害者の権利擁護」であると、恥じずに皆様にお伝え出来るよう、これまでを振り返り今後の事業運営にまい進して参ります。

今後とも自立生活センター・立川へのご支援をよろしくお願いいたします。

福祉ホットライン〈障害者地域自立生活支援センター事業〉 2022年度上半期事業報告

○相談支援の傾向

上半期の相談支援では、新規の方から様々なご相談を頂きました。
車いす使用を始めてから間もない下肢障害の方から、初めてご夫婦で旅行に行きたいので車いすで楽しめる旅行先やルートを教えて欲しい。また軽度の歩行障害があり外出時に手伝ってくれるような支援付の住宅は無いかな等の相談が寄せられました。やはり外へ向かう気持ちを支える事はその方の支援の第1歩です。そんな場面に関わる機会を得ることが出来良かったです。

また、支援機関からの紹介で、精神障害者の親御さんが高齢になり、今後どのようにサービスに繋がったら良いか、支援機関を継続利用するためにはどうしたら良いかな等、家族介護の限界からサービス支援機関との連携、調整を図る相談も頂きました。

他にも身体障害のある方から、実家また施設から自立したいとの相談を受け、新しい生活作りの不安と期待の気持ちに寄り添い、具体的な住宅探し、サービス利用に向け相談支援専門員の方と連携しながら支援を行いました。

これまでに引き続き、コロナに関する相談も多く、単身の方で24時間介助の必要な方でも、現状では陽性になると全てのサービス利用が困難になり、保健所・医療機関との入院調整をせざるを得ない状況に陥ってしまうケースもあります。Withコロナ下の障害者の地域生活の継続も、大きな課題として見えてきました。

○立川市自立支援協議会

全体会：第1回 6月13日(月)、第2回 9月26日(月)

今年度の上半期は、自立支援協議会の全体会も対面開催可能となり、各委員より前年度の報告から課題の共有、新しい事業として「重層的支援体制整備事業」、立川市独自事業として「在宅レスパイト・就労等支援事業」等の新しい取り組みも多く紹介されました。

また、立川市のサービス支給決定に関する質問も多く「障害者サービスガイドライン(支給決定基準)案」が提出され、各委員からその内容に関する不安、不明点の質問が沢山出されました。行政からは、その全てに「あくまでも決定基準に示されているものは目安であり、個々の障害者のニーズをこれに当てはめ制限するものではない。【聞く耳を持たず、門前払いするようなものではない】」との回答が繰り返されました。今後も自立支援協議会で「ガイドラインによる障害者のサービス利用判断が賢明にされているか」注視が必要と強く感じました。

○2022年度 立川市障害者週間イベントのお知らせ

12月5日(月)～11日(日)の期間、障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としたイベントを開催します。今年のテーマは「めざせバリアフリーライフ@立川」です。

実行委員をはじめ、様々な方達と一緒に企画・準備を進めております。是非ご参加ください。

- 12/5(月)～11(日)展示会(小学生絵画、福祉団体支援機関紹介パネル)@立川市役所 多目的プラザ
- 12/6(火)「社労士による障害者の年金と労働法に関する無料相談」(要予約)@立川市役所302会議室
- 12/6(火)～8(木)11:30～13:30 福祉作業所による物品販売会 @立川市役所 多目的プラザ
- 12/11(日)午後「身近にある『バリアフルライフ』に気づこう！」

ショートムービー「バリアフルライフ」上映会+シンポジウム @立川市役所101会議室

■YouTubeにて動画配信 立川キャラバン隊 ひこうき雲

(鈴木 徳子)

たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ ~ **かみはんきほうこく 上半期報告** ~

今年度上半期は爆発的なコロナ感染者の増加がありましたが、経済は通常にまわすという考えが浸透し、ほとんどの登録者の方が通常の業務に戻られています。感染する方も増えていますが、多少の後遺症はあっても、全員、無事復帰されています。

さて、上半期、新たに利用登録された方は15名(知的障害11名、精神障害3名、身体障害1名[知的重複])でした。そのうち発達障害の方は6名でした。利用経路としては、直接ご相談があった1名を除

くと、企業からご相談をいただいた方が1名、特別支援学校高等部等新卒者が8名、ハローワークから3名、定着支援事業所から1名、その他福祉事業所から1名のご紹介がありました。

就職は17件でした。内訳は、一般事務・事務補助が5件、建物清掃が3件、店舗での品出し、清掃等の補助業務が4件、倉庫作業が1件、飲食店や病院での食器洗浄などが3件、保育園での補助業務が1件でした。そのうち特例子会社への就職は5件でした。

離職は4件ありました。離職理由は高齢等によって適応が難しくなり福祉就労に転換された方が2件、

登録者状況 (2022年9月30日)	
① 人数	250名
② 性別	男性 177名 女性 73名
③ 年齢	10代 18名 20代 93名 30代 69名
	40代 37名 50代 28名 60代 5名
④ 障害	知的障害 190名 精神障害 47名
	身体障害 13名 手帳なし 0名
⑤ 状況	一般就労中 236名
	就職準備等 14名 (福祉施設通所含む)

転職のための訓練に進まれた方が1件、ミスマッチによるトライアル雇用終了が1件でした。

準備訓練プログラムについては、コロナ禍で中止になっていた高齢者施設清掃実習が再開でき、2名の方が参加されました。また、市役所庁内実習も例年通りの実施になり、市内B型からの体験参加も含めると8名の方が参加され、その中から2名が就職(内定含む)、1名が休職からの復帰を果たされました。

知的障害の方を対象とした交流プログラムとして実施している「夕食会」は、昨年度同様、感染防止のため時間短縮、人数制限をしたうえで実施し、11回で延べ177名の方が参加されています。同じく知的障害の方を対象とした「お楽しみ会」は規模が大きいので、残念ながら現在まで中止しています。

精神障害や発達障害の方を対象とした「茶話会」については7月に「自立生活について」をテーマに、ハイブリッド形式で実施し、7名の参加がありました。事前に一人暮らしをしている登録者にアンケートをとってデータを収集し、よりリアルにイメージできるよう工夫しました。

地域との連携については、自立支援協議会就労専門部会に協力する形で進めていますが、8月17日には部会主催の第1回研修・交流会で、事業や支援内容をお話する機会をいただき、市内のB型・移行支援事業所等とも交流を深めることができました。地域の支援力をあげていくために、お互いを知る事の大切さを確認することができました。引き続き、地域の中で当センターができることを模索していきたいと思っております。(白部 貴子)



茶話会の様子

じりつせいかつぶ
自立生活部

じぎょうほうこく
事業報告

■おすすめスポット通信取材 「の一かるバザー (コトリンク1F)」

今回は、立川駅南口に新しくできた魅力発信拠点施設「コトリンク」の1Fにリニューアルされた「の一かるバザー」をおすすめスポットとして取材してきました。もともとは柴崎郵便局の近くにあったお店ですが、立川や多摩地域の魅力を発信するファーマーズマーケットとして2022年6月2日にオープンしました。立川駅南口からまっすぐ南に徒歩3分と、とてもアクセスのよい場所にあります。



株式会社まちづくり立川が運営の主体となり、多摩地域でその日に採れた地場野菜や、日本各地から厳選された一品まで、鮮度を重視した国産野菜をほぼ年中無休で購入することができます。また隣には「ジバーカフェ」が併設されており、その名の通り地場野菜を使った軽食やカフェ、ケーキ、お酒なども楽しむことができます。

バリアフリー面では、車いすで通りやすい幅を確保した店内となっており、奥にはバリアフリースイレが設置されています。車いすでの利用はもちろん、オストメイトの方も利用できる設備があります。また車いすで使いやすいサッカー台(買ったものを袋に入れる台)もあり、お買い物のお手伝いが必要な際は、店員さんに相談すれば対応もして下さるとのことです。さらに前払いの上での対応となりますが、送料を負担すれば自宅などへの配送も可能とのことでした。



駅からも近いので訪れやすく、地元の新鮮な農作物を購入したり喫茶を楽しむことができるお店です。気軽に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(大石 幸治)



「の一かるバザー」「ジバーカフェ」

立川市柴崎町 3-9-2

TEL:042-548-2511 FAX:042-548-2512

営業時間10:00~20:00

(ジバーカフェのみ平日土曜22:00まで)

年中無休 (年末のみ時短営業・年始未定)



■協力員会議 (7月1日) 参加者7名

コロナウイルスの影響で2年間対面での開催を断念していた協力員会議ですが、2022年度は感染対策を施しながら、地域の学習館に集うことができました。「久しぶり!」「お元気でしたか?」といった会話が飛び交うなか、まずはお互いの近況を聞きあいました。その後、今年度の活動(小・中学校への出前講座や、市民主導の参加型イベントたちかわ薬市への出店など)について



の説明を行った際には、皆さん積極的に参加希望を出してくださいました。当団体を支え、ともに活動して下さっている協力員の皆さんと、今後も地域とつながりながら障害のある私たちのことを市民に伝えていく機会を作っていきたいと思ひます。(廣瀬 麻美)

■昭和記念公園バリアフリートイレチェック (8月1日)



当団体では2020年冬に国営昭和記念公園管理センターと障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考へる会からお声かけ頂き、園内約50ヶ所のトイレ調査を行いました。この夏、1年半ぶりに管理センターの方より「バリアフリートイレが新設されたのでぜひ見学に来てほしい」と嬉しいご連絡を頂きました。さっそく伺ったところ、調査時に重いユーザーやオストメイトの障害当事者の立場から発信した意見が取り入れられた利用しやすいトイレが設置されています。一緒にチェックを行った協力員の方の感想をお伝えします。

「キレイなトイレができていました。今回のチェックのあとで、昭和記念公園にバーベキューに行きました。安心してトイレを使うことができよかったです。」(廣瀬 麻美)

■ピアサポートグループりらく立川 メソッド見学 (9月7日) 参加者3名

精神障害の方のピアサポートグループ、りらく立川では月に1回、精神科病院への訪問活動を、コロナ禍では昨年の11月からオンラインにて入院中の患者さんとお話しています。患者さんとお話する中では、入院中の病院での生活での悩みに加えて、退院後の生活について、日中どのように過ごしたらいいか?住むところをどうしたらいいか?なども話題に上がります。退院後の生活先として、グループホームのことが取り上げられることも多く、りらくのメンバーから患者さんにグループホームについて説明をする時に、グループホームのことをもっと知っておきたい、との意見が出て、立川市内にあるグループホームのメソッドへ見学させていただく機会を持つことができました。

グループホームで生活するにはどのくらい費用がかかるのか?どのような支援をしてもらえるのか?職員はいついるのか?相談事があった時はどうすればいいか?具合が悪くなった時はどのように対応してもらえるのか?...等々、事前に質問事項をお伝えして、それにそって説明をしていただきました。メンバーの方への質問もあったのですが、皆さんお話しするのが苦手とのことで、1名のメンバーさんが同席くださった以外は職員さんから事前に聞き取っていただいて、グループホームで生活する中で楽しんでいること、入居して良かったこと、普段の生活のルーティーン、など教えてもらいました。実際に訪問し直接お話を聞き、りらくのメンバーもグループホームがあることで退院後の生活が安心したものになるとの実感を得られたようです。また、これを機に今後ともつながりを持ってたらとの意見もあったので、検討していきたいと思ひます。(清水 英子)

知的事業

■「就労継続支援B型・生活介護 木馬工房取材」(6月17日)

八王子にある就労継続支援B型・生活介護事業所「木馬工房」さんの取材に行ってきました。2021年に開催されたアールブリュットin昭和記念公園の取材に行った際に、木馬工房さんの作品を知ったことが取材のきっかけとなりました。これまで立川市外の通所事業所には取材したことはありませんでしたが、



他市の事業所がどのような作業をしているのか知りたいと思い、今回の取材を企画しました。木馬工房さんは、1985年4月1日に身体障害者通所授産施設としてスタートした歴史ある事業所です。木工部門、ガラス部門、印刷部門、ハーブ部門と様々な部門に分かれており、利用者さんが作った作品は木馬工房さんのお店「木のっぴ」にて販売しています。木で作られたかわいらしい商品が多く販売されていますので、興味のある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。

内山さん感想：商品がたくさん売っていたので、いっぱいお客様に来てほしいなと思いました。木のっぴでは、動物のがらの赤いマスクを買いました。ほかにも、木で作ったコマやパズルも売っていたのが、印象に残っています。

木馬工房基本情報 住所：八王子市元本郷町3-17-3 / 電話番号：042-624-3340

■「みんなで楽しくダンシング！～うちいとゆかいな仲間達～」(9月17日)



新型コロナウイルスの影響で大きく生活が変わり、外出がしづらく、コロナ前に比べて身体を動かす機会が少なくなってしまった…という人が多いのではないのでしょうか？今回は「みんなで楽しくダンシング！」ということで、“心も体もリフレッシュができるように”座りながら楽しく出来る体操を6名の参加者の方と行ないました。プログラムは自立生活センター・立川の一室にて、なるべく密にならないようにしたり、身体を動かすということもあり通常よりも多く休憩をとったり、工夫しながら開催

しました。「初めて踊るから不安…」という声もありましたが、リーダーの内山さんやサブリーダーの泉口さんが熱心に説明し、明るい雰囲気をつくっていたことが伝わったのか、最後には参加者皆さんの笑顔が多く見られました。今回のプログラムの“心も体もリフレッシュができるようにする”という目的が達成できたのではないかと思います。これからも、参加者の皆さんが楽しみつつ息抜きもできるようなプログラムを考えていきたいです。

プログラムを企画、運営した内山さん、泉口さん、参加者の方々の感想を一部掲載します。

内山さん：参加者の皆さん、きちんと体操することができていました。「難しいところもがんばってやりましょう」という私の声かけに、みんながこたえてくれて嬉しかったです。また、色々な体操やストレッチなどもやってみたいです。これからもどのようなプログラムにするのか話し合っ決めてたいと思います。

泉口さん：今回のプログラム、みんなで楽しくできていたと思います。知的事業のプログラムは年に2回ありますが、今後のプログラムで個人的にはスポーツをやりたいと考えています。広い場所で行えば、参加人数を増やすことも出来ると思うので、その際は早めに打ち合わせをするようにしたいです。

参加者：初めて参加しましたが、みなさん上手でびっくりしました。また、プログラムに参加したいです。他の作業所で踊ったことがある体操は覚えていました。ようかい体操は初めて踊りましたが、とても楽しかったです。

※写真撮影の際のみマスクを外しています。(椿 志野)



せいかつかいごじぎょうしょ 生活介護事業所 えんばわ かつどうほうこく 活動報告

★立川防災館行ってきました！／7月20日 水曜チーム

立川消防署の並びにある「立川防災館」は、地震や火災などの知識を学ぶことができる施設です。分かりやすく、楽しみながら防災について学ぶことができるため、えんばわのみなで体験に行ってきました。今回体験したのは、「応急救護訓練(AED実習)」、「消火訓練」、「VR防災体験」、「防災ミニシアター」の4種類です。2班に分かれ、スタッフさんが説明しながら案内してくださいました。消火訓練では、希望したメンバーさんと職員で、実際に消火器を使いモニターに映る火を目掛けて発射！中身は本物ではなく水でしたが、勢いよく噴射されるのに驚きながらも、無事火を消し止めることができました。見学していたメンバーさんも大盛り上がりで、楽しみながら使い方を学ぶことができました。VR防災体験では、動く座席でVRゴーグルを装着して、実際の地震や火災現場の状況を体験することができます。怖がるメンバーさんも多く、動く座席に挑んだのは2人でしたが、ゴーグルを付けているだけでも臨場感のある体験ができたようです。リアルな体験をすることで、「本当に地震や火災が起きてしまったら自分はどうしたら良いのだろうか？」と考える良い機会となりました。下にメンバーさんの感想を記載します。



【メンバーさんの感想】

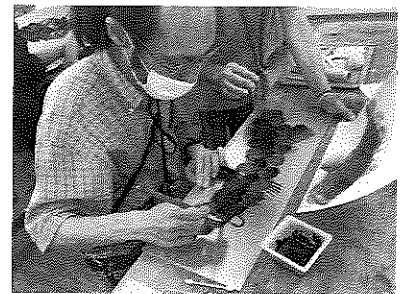
中島さん：職員によるAED実習が上手で驚いた。

アンジェラさん：建物が立派でびっくりした。入口すぐにあったミニ消防車が可愛かった。AEDはとても大切だと思った。やり方によっては命にかかわることであり、最終的に人を救うのはAEDではなく、人だということがわかった。



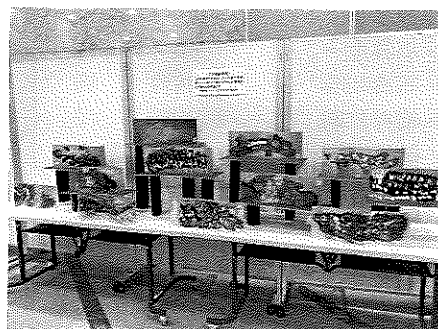
★「誰でもアート～たまfunとアートを楽しもう～」に参加してきました！／8月30日 火曜チーム

芸術の秋を一足早く感じたい！ということで、女性総合センターアームで開催されたアートのイベントに参加してきました。主催は、障害のある人もない人も一緒にアートを楽しめる活動をおこなっている「たまfunアート」さん。以前、小学生と一緒に大きな作品を作るイベントに参加したこともあります。今回は、意外な道具をたくさん活用して「魚」を描くという内容でした。様々な種類の魚の見本から好きな物を選び、金色の紙に黒色のアクリル絵の具で魚の体を肉付けしていきます。その後は竹串で色を削ったり、緩衝材として使われるプチプチでスタンプのように色を付けたりして、魚に模様を描いていきます。メンバーさんそれぞれ、個性豊かな作品を仕上げることができました。完成した作品は、当日から同じ施設内で展示していただき、さらに高松学習館で開催された「アール・ブリュット立川」の展示会にも、当日の活動写真と共に飾ってくださいました。えんばわの活動ではなかなか出来ないアート活動を、地域に住む方々と一緒に楽しみ、とても貴重な時間を過ごすことができました。下にメンバーさんの感想を記載します。



【メンバーさんの感想】

井上さん：お魚の絵を描いてよかった。



※外出の際は感染対策を行い、写真撮影時以外はマスクを着用しています。

(金井 春奈)

私たちの動き (6/1~9/30)

()は担当部門名 CIL・HL・就労・えんばわ

※印はオンライン

【イベント・行事の実施】

(CIL)

- ・出前講座 (五小, 四中) ・協力員会議(7/1)
- ・おすすめスポット通信取材(8/26)
- ・知的事業プログラム(9/17)
- (就労)・茶話会(7/9)
- (えんばわ)・外出企画「立川防災館へ行こう！」(7/20)

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会地区別懇談会(6/1, 8/31) 研修会(9/30)
- ・立川市自立支援協議会地域移行専門部会(6/10, 8/5)
- ・TIL相談支援サポートグループ(6/10, 8/19)※
- ・立川市自立支援協議会全体会(6/13, 9/26)
- ・りらく定例会(6/16, 7/21, 8/18, 9/15)
- ・立川市障害者施策推進委員会(6/17)
- ・りらくオンライン病院訪問(6/23, 7/28, 8/25, 9/22)※
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(7/19)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(7/20, 8/23, 9/29)
- ・立川市災害ボランティアネット定例会(7/29)※
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会定例会(8/18, 9/15)※ 総会(6/30)
- ・立川市災害ボランティアネット解散臨時総会(8/21)※
- ・立川市交通結節推進協議会(8/23)
- ・立川市自立支援協議会運営会議(8/24)
- ・ホワイトラテ定例会(9/1)※
- ・りらくグループホームMETHOD訪問(9/7)
- ・多摩療護園利用者・職員懇談会(9/14)
- ・立川市障害を理由とする差別解消
まちづくり協議会(9/26)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会1地区民生委員研修会(9/30)

(HL)

- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会(6/10, 9/9)
- ・立川市障害者週間実行委員会(6/23, 7/21, 9/22)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業
コーディネーター会議(6/23, 8/25, 9/22)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(7/19)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会就労専門部会(6/2, 28, 9/16)
- ・障害者雇用連絡会議(6/30)
- ・多摩就労支援ネットワーク連絡会議(7/15)
- ・多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会(7/22)※
- ・東京労働局主催企業と就労支援機関との面談会(7/29)
- ・ナカポツセンター長会(9/9)※

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・ヒューマンケア協会等共催

- ・ピア・カウンセリングオンライン集中講座(6/2)※
- ・JIL全国セミナー、総会(6/21, 22, 23)※
- ・東京都障害者ピアサポート研修(7/3, 13, 9/15, 22)
- ・昭和記念公園多目的トイレバリアフリー調査(8/1)
- ・TIL学習会(8/12)※
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会「若者シンポジウム」(8/24)
- ・ランチタイムセミナー
「地域の精神科医療その実態」(8/25)※
- ・JIL聴覚障害プロジェクトチーム企画
「情報アクセシビリティ法勉強会」(8/31)※
- ・立川市災害ボランティアネット
特別防災講演会(9/17)※
- ・CILくになちピアカンセミナー(9/30)※
- (HL)
- ・地域活動支援センター連訪問(7/14)
- ・東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
(8/27, 9/8, 20)※
- ・東京都立立川学園訪問(9/14)
- (就労)
- ・自立支援協議会就労専門部会主催
第1回研修・交流会(8/17)
- ・東京都メンタルヘルスケアスキル向上研修(8月)
- (えんばわ)
- ・誰でもアート
～たまfunとアートを楽しもう～(8/30)
- ・アール・ブリュット立川～高松からの風～(9/7)

【外部からの見学・研修】

(HL)

- ・明治学院大学(8/4)
- ・東京都立小平特別支援学校(8/25)

【講師派遣】

(CIL)

- ・明治学院大学(6/30)※
- ・交通サポートマネージャー研修(9/27)

(HL)

- ・東京都相談支援従事者現任研修
ファシリテーター(6/29, 8/8, 9)
- ・東京都相談支援従事者現任研修スーパーバイザー
(対面/※)(7/15, 19, 21, 8/21)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・清田昌 様 ・橋本静 様 ・原敏起 様
- ・細金君代 様 ・小林恵一 様 ・小黒一希 様
- ・橋本紀子 様 ・石渡和実 様 ・西村貴大 様
- ・山川朝弘 様 ・横井知明 様 ・鴨池敏子 様
- ・西村貴大 様 ・株三興製作所様 ・匿名 2名

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : http://cilt.sakura.ne.jp/
Mail : cilt@sh.rim.or.jp

発行人
特定非営利活動法人
障害者団体
東京都世田谷区砧六丁目二二